

住民と議会をつなぐ

すみた 議会だより


No.192
令和8年
1月16日

「サンタさん、プレゼントありがとう！」

《有住保育園》関連記事18P



12月議会のあらし

町営住宅を指定管理

②

一般質問は6人が登壇

物価高対策・クマ対応などで論戦

⑤

住民と議員との懇談会

住民から活発な意見・要望

⑬

すみた想い人 子ども食堂に地域の力を

⑬

岩手県住田町議会



第13回定例会 (12月議会) あらまし

第13回定例会（12月議会）は、12月2日から5日までの4日間の会期で開かれました。一般質問には、6人の議員が登壇し、小学校統合、経済対策、小さな拠点づくり、クマ被害対策など、多岐にわたり活発な議論が交わされました。本議会では町条例の一部改正、補正予算など13議案、専決処分1件、について審査し、すべて原案のとおり可決、承認しました。

指定管理

町営住宅を指定管理

維持管理などサービス向上を期待



△指定管理となる町営住宅

問 町で行ってきた指定管理と外部企業の指定管理とするメリットは何か。

町営住宅入居者へのサービス向上、民間経営の知見や経験を活かした経費削減業務の効率化を図るため、住田町営住宅及び特定公共賃貸住宅などの管理を行う指定管理者を指定した。

答 町営住宅には30年を経過した住宅もあり、経年劣化による修繕が多くなっている。職員2名体制で、他の業務も行いつつ、修繕箇所の確認から業者発注までを行ってきた。民間企業のノウハウを活かすことで、より迅速な対応で、入居者サービスの向上が期待でき、職員の負担軽減も図られる。

- ◆ 指定管理者 有限会社 菊池組（住田町）
- ◆ 指定管理の概要
 - ・ 指定管理料 10,023千円
 - ・ 管理戸数 一般公営住宅 120戸
特定公共賃貸住宅等 24戸
(合計184戸) 定住促進集合住宅等 40戸

条例改正

給与・手当 など改定

岩手県人事委員会の勧告により、県職員の給与が改定されたことに伴い町職員給与・勤め手当、特別職（町長他）職員の期末手当などが改正された。

※主な改正点は左表。

区分		現行	改正後
一般職	勤勉手当	2.100月	2.125月
特別職	期末手当	3.450月	3.500月
会計年度任用職員	勤勉手当	2.100月	2.125月
議員	期末手当	1.725月	1.775月

年頭のあいさつ

議長 佐々木春一



実り多い年に

町民の皆様、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃から町議会への深いご理解と温かいご支援、ご協力に厚く御礼を申し上げます。

議会は、昨年十月に任期の折り返しとなり、改めて住民の皆様への負託に応えられるよう、活動の充実と改善を図ってまいります。

新年が実り多い年になりますようご祈念申し上げます。

財産取得

役場職員用パソコン更新

パソコン51台／990万円

購入から5年を経過した職員用パソコンを更新。自治体DXの推進に合わせ、庁内のペーパーレス化推進のため、タブレット機能を有するものを調達することで、業務用端末としての汎用性向上も図る。

- ◆取得する財産
ノートパソコン 51台
他付属品など
- ◆取得方法 買取り
- ◆取得先
株式会社 平金商店（盛岡市）



△パソコン更新で自治体DXを加速

人事案件に同意



教育委員

おおやま としかず
大山 敏一
62歳

住田町上有住字上家
(再任)

任期：令和8年1月
～令和10年12月

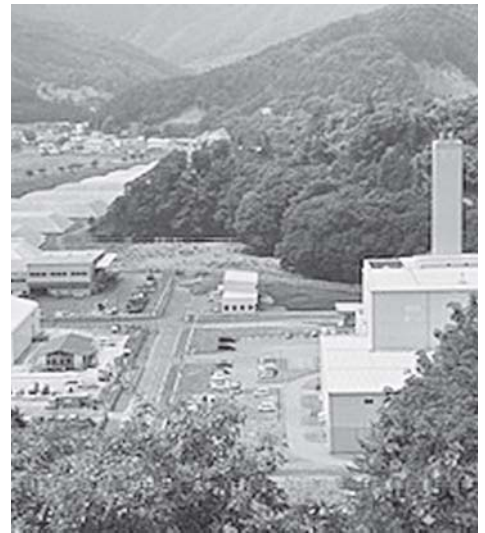
規約一部変更

沿岸南部クリーンセンター大規模改修に伴う自治体負担割合を決定

平成23年から稼働している、沿岸南部クリーンセンターは、老朽化のため溶融炉の改良

事業を計画している。

今回の岩手沿岸南部広域環境組合規約の一部変更では、溶融炉の改修に必要な費用の負担割合を定めるもので均等割を10%、利用割を90%にする。利用割合は、平成23年度から令和7年9月



△沿岸5市町のごみ処理を担う沿岸南部クリーンセンター

専決処分

までに処理された一般廃棄物の量と、令和7年10月から令和8年3月までの見込みを基準に計算される。

放課後児童の健全育成のための条例一部改正

児童福祉法に新たな項が追加されたことに伴い、同法を引用している、住田町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の改正を専決処分した。

問 条例に適用されている法律の内容は。

答 児童の健全育成を阻害する行為を禁止している、性的・心理的虐待などから、児童を守る項目が規定されている。

令和8年 謹賀新年

本年もよろしくお祝い致します
住田町議会 議員一同



一般会計 補正予算

一般会計補正予算は、給与費の増加などで2845万円を追加し、54億6449万円となった。

物価高
子育て応援手当
830万円

地域力創造 アドバイザー事業 540万円減額

問 地域力創造アドバイザー報償費1名

分の減額となっているが、町政運営に影響は。

答 地域活性化企業人3名のコーディネート依頼を断念した。

国のマッチングプラットフォームフォームを活用し自力でのコーディネートの方角も検討していきたい。町政への影響はないと捉えている。

問 アドバイザー事業は、全額国からの補助金を活用できる事業であり、活用していくのが基本的な考え

だと思いがどうか。

答 この事業は、特別交付税で措置されており、初年度560万円を上限に活用できる事業である。これまでに、アドバイザーを様々な活用してきたが、成果も検証しつつ作業してきた。前年度から次年度に向けて準備をして、年度当初から採用に至れるよう取り組んでいく。

問 対象者や支給方法など、どのような対応になるのか。

答 対象は児童手当を受給している高校生まで。支給額は一律2万円。対象者は415名を見込む。

なるべく早く支給できるよう作業を進めており、12月後半から1月初旬での支給を考えている。



△子どもの健やかな成長を願って支援

12月定例会で審議された議案

議案番号	議案名等	審議結果
報告第1号	住田町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例に関する専決処分の報告について	承認
議案第1号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第2号	特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第3号	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第4号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第5号	令和7年度住田町一般会計補正予算	可決
議案第6号	令和7年度住田町国民健康保険特別会計補正予算	可決
議案第7号	令和7年度住田町介護保険特別会計補正予算	可決
議案第8号	令和7年度住田町簡易水道事業会計補正予算	可決
議案第9号	令和7年度住田町下水道事業会計補正予算	可決
議案第10号	財産の取得に関し議決を求めることについて	可決
議案第11号	住田町営住宅及び特定公共賃貸住宅等の指定管理者を指定することに関し議決を求めることについて	可決
議案第12号	岩手沿岸南部広域環境組合規約の一部変更の協議に関し議決を求めることについて	可決
議案第13号	教育委員会の委員の任命に関し同意を求めることについて	同意

一般質問

町の考えを問う

物価高対策・クマ対応 小学校統合などで論戦

ページ	質問者 (登壇順)	質問項目
6	おぎわら まさる 荻原 勝	①地域公共交通 ②小・中学校の教育環境の整備
7	はやしざき さちまさ 林崎 幸正	①小学校の統合 ②学校跡地の利活用 ③経済対策
8	あべ ゆういち 阿部 祐一	①重点支援地方交付金の活用 ②暫定税率廃止に伴う税収への影響 ③林業振興
9	ささき しんいち 佐々木 信一	①鳥獣被害対策
10	きんの ちづ 金野 千津	①小さな拠点づくり活動の成果と今後の方向性 ②町内における引きこもりの現状
11	みずの まさかつ 水野 正勝	①クマ被害防止対策

一般質問では、議員が執行機関である町に対し、行財政全般にわたり、施策の状況や将来の方針などを聞き、所信や疑問点をたじます。

質問方法は、1回目は町への通告内容を一括して質問。2回目以降は1問1答方式を採用しています。持ち時間は、答弁を含めて60分です。

ここからは、主な質問と答弁を要約し、登壇順にお知らせしていきます。

全文記録（議事録）は、役場庁舎2階の総務課と町のホームページ上で閲覧できます。
(QRコードで議会ホームページへ直接進むことができます)

▼QRコード



問 予約式バス実証運行は

答 自宅での乗降が好評

問 本年11月4日より
コミュニティバス再編
と予約式バスの実証運
行が開始された。利用
状況や利用者の声をど
う捉えているか。

答 町長
定時路線型バスの1
日当たりの輸送人員を
本年4月から10月まで
と11月4日から11月21
日までで比較すると、
世田米有住線は34・7
人から30・2人に減少、
遠野住田線は10・9人
から12・8人に増加し
た。利用者からは、利
用し易い料金になった、
便数が減り民間バスと
の接続が不便になった
などの声があった。

問 デマンド型予約式バ
スは11月4日から11月
21日までで、利用登録
者数41人、利用者数22
人、1日当たりの平均
では1.6人であった。利
用者からは、自宅付近
で降りることができ
るため買った重い荷物を
運ぶのが楽になった、
との声を頂いている。

答 町長
買ひ物や通院利用の
比較的高齢の方を想定
1日当たりの利用者数
は4人を見込んでいる。



△住田中学校の放課後の部活動。貴重な青春の
1ページ

問 小・中学校の安全
安心のために、防犯カ
メラやインターホンな
どを整備してはどうか。

答 教育長
これまで校舎周辺
の巡視、玄関や窓の施
錠徹底、教職員による
情報共有、防犯マニユ
アルの作成、防犯訓練
などを実施してきた。
防犯カメラやインター
ホンなどの安全設備の
設置は、児童生徒や教
職員の安心感につなが
り、不審者の早期発見
や捜査にも有効である。
学校施設の特徴や状況
を調べ、必要な設備の
設置を検討したい。

問 中学校の部活動は
どのような状況か。生
徒のニーズや希望に
えられる体制なのか。

答 教育長
住田中学校の部活動
は、生徒数の減少に加
え、加入が任意となっ
たことで、特に運動部
の団体競技で影響が大
きく、限られた種目の
部活動しか実施できな
い状況にある。生徒の
ニーズや希望に応えら
れる体制については、
中学校で教員が中心で
担ってきた部活動の指
導や運営を、地域のク
ラブや団体、外部指導
者などと連携し学校の
外に広げていく「地域
展開」により対応して
いきたいと考えている。



おぎわら 荻原 まさる 議員

予約式バスには
愛称を。利用者
登録や利用促進
にキャッチフレ
ーズを。

議員のつばやき

町の考えを問う

問 生徒の希望に応えられるか

答 部活動の指導は地域展開で

問 どう捉える 小学校統合

答 慎重な議論で合意を図る

問 遠からず、小学校の統合が必要になると思われる。必要性をどのように捉えているか。

答 教育長

少人数学級では個々の児童に目が届きやすいという長所もあるが、統合することで、人数による集団活動の制約が減少されること、複式学級の解消により授業が効率化されること、多様な児童間の切磋琢磨による学習意欲

の向上などがあげられる。経費節減や効率化

施設の有効活用も期待

されることから、統合

の必要性は大きいと認識している。

問 統合の時期をいつ頃と見込んでいるのか。

答 教育長

学校は学習の場に加え、地域コミュニティの核であり、防災や地域の交流の場であることから、統合は地域に

大きな影響を与える懸念がある。保護者や、

教職員、地域住民から

も意見を聴取し、時期

だけでなく、統合に係

る様々な分野に関して

慎重に議論をし、合意

を図りつつ、スケジュール感を持って検討する必要がある。

※その他の質問

・学校跡地の利活用



はやしぎ さちまさ 議員
林崎 幸正

町長の任期中
出来るかな
小学校統合。

議員のつぶやき

町の考えを問う

問 物価高騰に事業者支援を

答 国の施策を注視し対応



△ガソリンの値下げが町民を支える

問 物価高騰などにより経済支援が必要。プレミアム付き商品券第2弾を実施すべきと考えるがどうか。

答 町長

昨今の世界情勢の影響を受け、エネルギーや原材料コストが高騰し日本国内での物価上昇が続いている。

第2弾のプレミアム付き商品券事業実施などの経済対策については、今般発表された国の経済対策を踏まえながら、商工会、商工業者と情報交換、情報共有を図りながら検討していく。

問 物価高騰や最低賃金の引き上げは、経営を圧迫していることから、事業者への支援対策を講ずるべきでは。

答 町長

物価高騰を始めとする経済対策は、個々の自治体の事情ではなく、国全体のこととして取り組むべきものと捉えている。

ガソリン税の暫定税率廃止といった大型減税もその表れである。今後は、国の経済対策支援メニューに注視し、働く場の確保と町内事業所への支援を行っていききたい。

問 冬季の生活支援は

答 福祉灯油を継続

問 福祉灯油は昨年度と同様に実施する。生活をどう図るのか。

答 町長 福祉灯油は昨年度と同様に実施する。生活をどう図るのか。

問 世界情勢の不安感や円安による物価高騰は、町民生活に大きな影響を与えている。国の重点支援地方交付金の対象も拡大されるがどう捉えているのか。

答 町長 新たな推奨メニューが、食料品の物価高騰に対する特別加算となる。従来のメニューと別枠で、お米券や電子クーポンなどが推奨されている。

問 国は来年度から小学校給食費を無償化するとしているがどうか。

答 町長 令和8年4月より全国の小学校の給食無償化が実施される予定であることは、報道を通じて承知しているが、正式には文部科学省や県教育委員会から通知は届いていない。仮にこの補助制度が実施されるとしても詳細を調査し、給食の質の低下がないよう対応したい。

問 町内の森林の航空レーザ測量が終了しているが、そのデータをどのように活用するのか。

答 町長 測量技術の活用により、解像度の高い航空写真の確認や立木の資源量、地形の状況、既設路網などの情報を全町的に把握している。得られたデータは、



△分収林の主伐作業状況

問 作業道整備への補助見直しが必要では。

答 町長 町単独の補助で、間伐搬出の作業道整備を支援しているが、主伐には適用外となる。

問 入札不調となった分収林への対応は。

答 町長 入札が不調になった場合には、時期を改めて再度の入札を実施し、なおも不調となった場合は随意契約による販売を認めている。

問 今後、森林所有者に提供し、所有する森林の管理のあり方を考える機会としていく。

答 町長 この5年間で入札を実施した23組合中で、売買契約が成立したのは14組合。9組合が入札不調となっている。

問 分収林の販売状況はどうか。

答 町長 今後、森林所有者に提供し、所有する森林の管理のあり方を考える機会としていく。

問 町内の森林の航空レーザ測量が終了しているが、そのデータをどのように活用するのか。

答 町長 測量技術の活用により、解像度の高い航空写真の確認や立木の資源量、地形の状況、既設路網などの情報を全町的に把握している。得られたデータは、

問 町内の森林の航空レーザ測量が終了しているが、そのデータをどのように活用するのか。

答 町長 測量技術の活用により、解像度の高い航空写真の確認や立木の資源量、地形の状況、既設路網などの情報を全町的に把握している。得られたデータは、

問 町内の森林の航空レーザ測量が終了しているが、そのデータをどのように活用するのか。

答 町長 測量技術の活用により、解像度の高い航空写真の確認や立木の資源量、地形の状況、既設路網などの情報を全町的に把握している。得られたデータは、

問 町内の森林の航空レーザ測量が終了しているが、そのデータをどのように活用するのか。

答 町長 測量技術の活用により、解像度の高い航空写真の確認や立木の資源量、地形の状況、既設路網などの情報を全町的に把握している。得られたデータは、

問 町内の森林の航空レーザ測量が終了しているが、そのデータをどのように活用するのか。

答 町長 測量技術の活用により、解像度の高い航空写真の確認や立木の資源量、地形の状況、既設路網などの情報を全町的に把握している。得られたデータは、

問 町内の森林の航空レーザ測量が終了しているが、そのデータをどのように活用するのか。

答 町長 測量技術の活用により、解像度の高い航空写真の確認や立木の資源量、地形の状況、既設路網などの情報を全町的に把握している。得られたデータは、



あべ ゆういち 議員
阿部 祐一 議員

物価高騰対策には、国・県の事業だけでなく町独自でも支援すべきだ。

議員のつばやき

町の考えを問う

問 航空測量データの活用を

答 所有者に情報提供

問 クマ対策の周知を

答 住民に注意喚起

問 県では、「ツキノワグマ対策基本方針」を示し、総合的な対策の推進・強化を図るが、町の対応はどうか。

答 町長

基本方針では、「人の生活圏への出没防止」「出没時の緊急対応」「クマ類個体群管理の強化」「人材の育成・確保」「対策の実効性を高める体制の整備」の5つの対策を推進。

町では、集落周辺の放任果樹の撤去や農地への電気柵の設置、人の生活圏に接する山林や耕作放棄地、河川の刈り払いなど、町民へ注意喚起を図っていく。

問 町内の、クマによる人的被害や、小中学校の安全対策はどうか。

答 町長

町内では、クマの目撃通報が、11月までに

68件。被害は、6月に上有住新田の農場で、人身事故が1件発生。飼いが襲われたケースや畜産飼料が荒らされるなどがあった。小中学校での対策ではクマ撃退スプレーや

追い払い用の花火、クマ鈴の配布など安全対策を行っている。



△クマ対策の箱ワナを新たに5基増備

問 ハンター養成のさらなる取り組みが必要と思うがどうか。

答 町長

町内では、毎年、二ホンジカは1000頭以上が捕獲されている。令和7年度は46名体制で活動し、14名が新たに狩猟免許を取得し活動を始めています。継続して有害捕獲活動に従事出来るように報酬や捕獲報償費などの活動経費を支援していく。

問 鳥獣捕獲に対する報償金の増額と支給対象の見直しは。

答 町長

捕獲に係る報償金は、二ホンジカ、イノシシが1頭当たり1万4000円、ツキノワグマが1頭当たり2万円。捕獲実績を届け出た隊員に交付。報償費は当面は現状で継続していく。

問 当町においても吹き矢による麻酔捕獲従事者の育成が必要と思うが、県に要望してはどうか。

答 町長

人材の確保や麻酔を扱う資格、知識や経験など、町単独では体制の整備は難しく、県の動向を注視し働きかけていく。

ジビエの活用を

問 ジビエの活用を推進するとしているが、どう取り組む考えか。

答 町長

ジビエ活用の推進は、猟友会や県、近隣市など連携し、町内でも関心を持っている人がいるので、情報提供しながら推進に取り組んでいきたい。



議員 佐々木 新一

町内クマ騒ぎで大変だ。早く冬眠を願う。

議員のつぶやき

町の考えを問う

問 「小さな拠点」の進展策は

答 垣根を越えて交流と協働を

課題は、役員のなり手不足や参加者の偏りがある。同様な課題を解決している地域や支援団体との交流を通じ、新たな参加者、人材、アイデアを取り入れ、課題解決に取り組みたい。

問 「小さな拠点づくり活動」の成果や課題をどう捉えているか。
答 教育長
5つの地区公民館で個性的な地域独自の取り組みを積極的に実施している。地域住民の交流、地域経済の活性化、持続可能な地域運営を図る上の重要な柱となっている。

問 町総合計画、地域経営分野の施策として、今後どのように進展させていく考えか。
答 教育長
基本的には各地域での取り組みを継続するとともに、他の地域や組織団体との交流が有効と考える。町内だけでなく、様々な垣根を乗り越えての交流や情報交換、協働が図られるように、先進地視察や調査研究を促し、事業の進展に取り組んでいきたい。



△住田町の自立支援相談窓口「ここからセンター」

問 町として、引きこもり状態にある方の状況把握と、今後の支援対策をどう考えるか。
答 町長
社会参加の場を避け、自宅などに長期にわたつてとどまり続ける状態の方々の把握は、本人・家族同意のもと、民生児童委員など地域の方々と、関係機関からの相談により把握している。

問 町として、引きこもり状態にある方の状況把握と、今後の支援対策をどう考えるか。
答 町長
問し、背景や状態把握を行い、医療機関や専門機関に繋がっている。

問 相談に結びつきにくい方に対しての支援者側からの働きかけや、情報提供はどのように行われているのか。
答 町長
岩手県が平成30年に実施した「地域住民の社会参加活動に関する実態調査」においても相談支援に結びついていないことが課題としてあげられており、本町においても例外ではない。支援窓口や相談者研修会への参加、家族教室の開催など、個々にあった支援を行ってきたい。



きんの ちづ 議員
金野 千津 議員

小さな拠点の今後の展開に期待。総合計画において更なる進展を。

議員のつぶやき

町の考えを問う

問 引きこもりの把握と支援を

答 個々に合った支援で

問 クマの積極的捕獲体制を

答 実施隊と箱ワナ設置で

問 クマ被害増加の背景には、個体数増加やエサ不足、人間社会の変化などが原因と考えられる。町の見解はどうか。

答 町長

環境省の「クマ類保護及び管理に関する検討会」では、推定個体数の確実な増加。林業や狩猟の減少などによる人への警戒心の薄れ。里山における活動の低下や耕作放棄地の拡大

などが影響している。報告されている。明確な根拠はないが、これらの要因が当町でも一定程度確認されている。

きる制度を県へ要望し、積極的な捕獲体制に取り組んでいくべきと考えるがどうか。

答 町長

問 クマは個体群維持を定めた県の管理であり、主に人への危険を防止する場合などにおいて捕獲が許可される。住民の安全安心のため、出没頻発地域において、事前に箱ワナを設置で

県からの許可捕獲を活用し、集落周辺でのクマ捕獲に取り組んでいる。許可捕獲を尊重しつつ、出没が確認された地域では、鳥獣被害対策実施隊と協議し、積極的な箱ワナの設置に努めている。



みずのまさかつ 水野正勝 議員

山菜採りや釣りが楽しめてこそこの住田。クマ対策は、人口問題や移住定住促進にも影響します。

議員のつぶやき

町の考えを問う

問 有効な果樹伐採 状況は

答 町単補助事業の活用増加

問

クマ対策の地域での取り組みとして、不要な果樹の伐採や藪の刈り払いなどによる緩衝地帯の整備、電気柵の設置が有効と捉える。取り組みの状況はどうか。

答 町長

放任果樹の伐採では、国の交付金事業に加え、町単独による除去費用の補助事業も実施している。最近では、当事業を活用した執行件数も増えており、集落ごとにまとまって取り組みむことで効果も大きい。

問

クマ被害の未然防止策として、赤外線カメラなどを活用し、ドローンによるクマの発見や警戒に取り組むなど、各地で先端技術への関心も高まっている。当町としても調査研究に取り組んでどうか。

答 町長

県内でも、AIカメラと通信技術を組み合わせたクマ検知システムを導入した自治体もある。先進技術に取り組む県の動向も注視し、先進事例の調査研究にもあたっていききたい。



△町内各地で実施されている獣を寄せ付けなため柿の木伐採

町の重要課題を調査

所管事務調査スタート

令和7年10月1日より常任委員会が新体制でスタートしました。総務教民常任委員会と産業経済常任委員会の新たな調査項目による所管事務調査の内容についてお知らせします。

総務教民常任委員会

総務、財政、医療、福祉、教育などに関する事務や事業の調査活動を行います。総務や民生などに関連する請願や陳情の審査も当委員会が担当します。

委員長

阿部 祐一

副委員長

佐々木 信一

委員

水野 正勝

林崎 幸正

荻原 幸正

金野 千津

や高齢化が進む中で、

調査項目

公民館活動や自主防

災組織活動にも影響

が出ている。

調査期間

令和7年10月1日か

③いつ起こるのかわか

らない災害に対処す

るためには、住民の

協働力と自主防災組

織や関連団体との連

携が重要。住民の生

命と安全を守るため

の、地域防災力の強

化を図る必要がある。

②当町では、人口減少

調査内容

①消防団・消防施設・

自主防災組織の現状

と課題、災害時の避

難対策、防災マップ

活用状況に関する調

査・研究

②防災福祉マップの活

用状況と今後の在り

方に関する調査・研

究

③先進事例調査

産業経済常任委員会

農政、林政、商工、観光、建設、簡易水道、下水道などに関する事務や事業の調査活動を行います。産業や経済に関連する請願や陳情の審査も当委員会が担当します。

委員長

村上 薫

副委員長

佐々木 初雄

委員

高橋 靖

菊池 孝徳

瀧本 正徳

オブザーバー

佐々木 春一

ている。

調査項目

②事業の継続には、年

地域産業の事業承継

間の安定した仕事の

確保と市場の拡大が

必要である。

調査期間

令和7年10月1日か

③個別の事業で年間の

仕事の確保や雇用の

確保において新たな

事業形態の調査・研

究が必要である。

①人口減少（少子高齢

化）の進行に伴い事

業者の廃業や他社へ

の譲渡が進み、町内

要である。

調査内容

①地域産業の経営や事

業継続・承継の実態、

新たな経営形態に関

する調査・研究

②特定地域づくり事業

協同組合制度の調査

・研究

③先進事例調査

「住民と議員との懇談会」

住民から活発な意見・要望

議会では、自治公民館と共催で「住民と議員との懇談会」を開催しています。今回は、令和7年11月12日より11月21日までの期間、町内5会場で開催。出席された住民の方々からは、さまざまなご質問、ご意見、ご要望をいただきました。その主な項目についてお知らせします。

〈開催状況〉

開催日	自治公民館名	出席者(人)		
		男	女	計
11月12日	新切	7	2	9
11月14日	中沢	16	9	25
11月18日	東峰	9	1	10
11月20日	火の土	9	2	11
11月21日	愛宕	10	3	13
	合計	51	17	68

独自テーマ 3会場で

今回の懇談会では3会場で、自治公民館より独自のテーマを設定していただきました。

- ・一人暮らしの高齢者支援など（新切）
- ・公民館へのエアコン設置（東峰）

・人口減少と地域づくり（火の土）

住民と議員とが情報を持ち合い有意義な意見交換となりました。昨今のクマ出没に関しては、全会場で、高い関心が寄せられました。

新切公民館

「わらび峠道路」早期拡張を

問 「わらび峠道路」の早期拡張を望む。

草木が茂ると車の走行が危険な状況になる。県へ要望してほしい。

答 一般県道遠野住田線の改良整備に関しては、町や議会でも要望している。今後も継続していきたい。

問 高齢化や独り暮らしが増え、適切に管理されていない空き家も増えている。町は空き家対策を。

答 空き家に対応する条例は整備されている。町では、空き家の実態調査を実施しており、今後、所有者の意識調査も進めていく。

議論された他のテーマ

- ・ 独居高齢者への支援
- ・ 鳥獣被害とクマ対応
- ・ 消防団員報酬の支給方法 など



△地域の安全を照らす防犯灯

空き家が増え暗い道
防犯灯設置で
生活の安心を

空き家が増え暗い道が多くなった。防犯灯の明るさは生活の安心。議員には、住民の声を行政に届けてほしい。



よしだ ひでかず
吉田英和さん
(新切)

中沢公民館

高齢者の免許返納への支援は

問 高齢者の運転免許返納への支援策は。

答 バスの年間パスやタクシーチケットなどを配布している自治体もあるが、町ではまだないのが現状。試験的デマンド交通が始まり、返納者の利便性も高まっている。町民の意見で改善していく。

問 公民館にWi-Fi（無線ネット接続）の機材を整備してほしい。予算措置を。

答 ネットでの会議が増えてきている中、今の時代に必要なことと捉える。当局に伝えていきたい。

議論された他のテーマ

- ・ 鳥獣被害とクマ対応（外国人への周知）
- ・ 町民ホールの音響
- ・ 老人クラブの必要性
- ・ 農道の管理 など



△中沢公民館では多くの住民が熱い議論

太陽光パネル
景観や環境へ
配慮必要

各地で太陽光パネルが設置されている。景観や環境への配慮が必要では。外国資本への土地転売なども心配。



よしだきたお
吉田喜多夫さん
(上目向)

東峰公民館

町の魅力づくり どう差別化

問 10年前に住田町に移住。その当時は保育園が安いなど魅力があったが、今はどうか。近隣と横並び。差別化できているのか。

答 子ども政策で他に先行していたことは、当町の誇れる面。総合計画の中で、移住者などへの政策にも積極的に取り組んでいる。

問 クマ出没時、父兄の送り迎えを受けられない児童生徒がいる。スクールバスに乗せる、タクシー代を補助するなど対策を。

答 現状を再度確認し、当局への要望を検討していきたい。

議論された他のテーマ

- ・ 自治公民館独自の活動について
- ・ 広葉樹の造林
- ・ プール熱中症 など



△町の魅力の一つである保育園

猛暑続き
会議のために
エアコンを

最近の猛暑で、公民館の会議や行事の打ち合わせが困難な状態です。公民館にエアコンを設置してほしいです。



ささきまき
佐々木真紀さん
(川向)

火の土公民館

人口減少に対応する地域づくり

問 人口減少への対応や地域づくりのために、どうすべきか。

答 ミニコンサートの企画など、人が集まる仕掛けを大切に、地域活性化を図っている事例もある。参考にしてはどうか。

問 放置柿が多くあり、クマやサルが来ている。危険・不要な柿の木などの果樹は、伐採してほしい。

答 放置果樹の除去は、農林業振興会に相談して、補助金を活用してほしい。見積額の2分の1、上限は40万円を補助。

緩衝帯作りの草刈りにも1日5000円補助される。

議論された他のテーマ
・公民館へのエアコン設置 など



△町道高瀬小畑線の未改良区間

高瀬小畑線 改良工事 早く進めて

町道「高瀬小畑線」にはまだ未改良の区間が残っている。災害時の迂回路。早急に改良工事を進めてほしい。



高木葉子さん
(火の土)

愛宕公民館

どうする 旧JR住宅の跡地

問 愛宕公民館は、1階の消防団屯所も含め老朽化している。旧JR住宅の跡地を利用して、愛宕公民館と世田米地区公民館を一体化した施設の建設を。

答 旧JR跡地は川が近く、公民館の立地に適さない。また、町内の多くの自治公民館は老朽化している。それらのことを含めて地域全体で総合的に考えていくべきである。

問 野球場の近くにあるテニスコートは活用されているのか。住田町の中心部にあるのに雑草が放置されている。

答 課題があることは認識している。町に管理体制を確認する。

議論された他のテーマ
・気仙川の災害対策
・新昭和橋 など



△新昭和橋の完成に期待を寄せる住民

河川内の茂み 視認できる クマ対策を

町場にクマ出没が相次ぎ、朝の散歩が怖い。柿の木に加え、通学路沿いや河川内の茂みを伐採し、視認できる対策を。



水野豊さん
(川向)

議会 レポート

ここでは、クマ被害や出没多発をうけ開催した緊急会議と当局へ申し入れた対策強化の提言や歳末たすけあい芸能祭での様子を報告します。

クマ出没から町民の命と安全を守る対策の強化を求める申し入れ

- クマ対策の基本方針の策定及び対応の見直し
 - 町の総合的な方針作成
 - 町民向けの対策マニュアルの提示
- クマ出没状況の迅速かつ的確な情報提供と注意喚起
 - 防災無線やすみたテレビなどを有効活用
- 安全確保対策
 - 積極的な捕獲体制の構築
 - 緊急銃猟体制の確立
 - 鳥獣被害対策実施隊やハンターへの待遇拡充
 - 学校や保育所などの安全確保対策
- 町の体制強化
 - ガバメントハンターの確保や育成
 - 獣害対策の専任職員の配置
- 防除
 - 不要な果樹の伐採などによる緩衝帯の整備や電気柵などの設置促進と支援
- 国・県との連携及び要請
 - クマ対策にかかる財政措置の要望
 - 個体群管理の徹底
 - ヨシ刈りなど、継続的な河川管理
 - 麻酔銃などによる捕獲従事者の確保と養成



△取り組みについて町と情報共有

町へ提言書提出

11月7日、ツキノワグマの被害や出没をうけて、町担当課との情報交換を目的に、緊急会議を開きました。会議では、町内における

クマ対応当局へ緊急提言 対策強化を求める

状況をはじめ、国や県、町の被害防止対策を確認。11月10日の議員定例会では、町への提案や意見を取りまとめました。11月17日には、提言書を町長へ提出し、対策強化を求めました。



△提言書を町へ提出

麦畑を熱唱！ 唄とスコップ三味線でにぎやかに！

毎年恒例 全員参加

歳末たすけあい 芸能祭

12月7日、住田町歳末たすけあい芸能祭が開催され、当議会も全員で出演しました。連続出演26回目となる今年は、オヨネーズの麦畑を選曲。新たにスコップ三味線にも挑戦し、ほのぼのとした雰囲気にも挑戦し、演目の披露となりました。会場からいただいた拍手子に感謝いたします。



△趣向を変えて、新たな挑戦

すみた想い人 20



△有志が集まって、食育や居場所づくり、働く子育て世帯を応援

町民の皆さんに登場していただく企画になります。町や議会に対しての意見、活動を通して「町への想い」を紹介していきます。

今回は、世田米地区で子育てをしながら、福祉関係者で立ち上げた「子ども食堂」で活動している横澤翔子さんに取り組みの経過や今後の想い、町や議会に望むことを伺いました。

子ども食堂に地域の力を



よこさわ しょうこ 横澤翔子さん (世田米字清水沢)

Q 住田町の魅力を感じていますか。人と人の結びつきが強く、地域での付き合いの良さ、山でも川でも自然の豊かさがあるのが魅力だと思います。

A 子ども食堂の活動にかかわるようになったきっかけは。

Q 住田町の魅力を感じていますか。

A う感じています。人と人の結びつきが強く、地域での付き合いの良さ、山でも川でも自然の豊かさがあるのが魅力だと思います。

Q 今までのような活動をしていましたか。

A 読み聞かせのボランティアグループ「どんどこ」の活動に参加していました。

議会を傍聴しよう!

町議会は誰でも傍聴できます。次の3月議会の予定は下表のとおり。生活改善センター議会棟の入口から案内に従って傍聴席へお入りください。

令和7年12月議会の傍聴者は13人でした



3月議会は

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
		一般質問			議案審議	
8	9	10	11	12	13	14
	予算審査特別委員会				議案審議	
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

住田テレビ放映もどうぞ

本会議や一般質問の様子は、住田テレビの「議会放送」でもご覧いただけます。放映時間は午後6時からです。



Q 住田町社会福祉協議会の呼びかけがあり、興味があったので、保育園のママ友と参加しました。

A 住田町社会福祉協議会の呼びかけがあり、興味があったので、保育園のママ友と参加しました。

Q 子ども食堂の活動に参加して良かったことは何ですか。

A 子どもたちも年寄りや地域の方々と世代を超えて交流できたことです。料理も一緒に作るなど食育にも良いと感じました。

Q 今後の活動に求められることは。

A 令和7年度は4回開催予定ですが、まだまだ少ないので、もっと定期的に開催できるようにすれば良いと思います。そのためマンパワーがもっと必要です。開催ごとに自家製の野菜などを届けていただく方もいますが、食材の確保も大きな課題です。

Q 町や議会に望むことをお聞かせください。

A 雨が降った時や冬場になると外で遊ばせることができません。小さな子どもたちが安心して遊べる屋内の施設を建ててほしいと思います。

Q 保育園に入所出来ない子どもたちをもっと気軽に預けられる制度があれば何かと便利で助かります。

パート 24
わたしの未来

住田町の子どもたちが
将来の夢を語る
コーナーです。
自薦・他薦も大歓迎。申し
込みをお待ちしています。

看護師になる

私の将来の夢は、**看護師になること**です。そのきっかけは、妹の世話をしてくれる訪問看護師さんがかっこいいと思ったからです。これから少しずつ医療器具などにふれたり、見たりして、将来、看護師になれるようになりたいです。



有住小学校6年
こおかい ゆきな
小向夕姫菜
(上有住字二反田)

将来の夢のために

僕の夢は、正直決まっていません。でも、今2つの事で悩んでいます。それは、**バスケットボールの選手か、お母さんの仕事を継ぐこと**です。小学校、中学校、高校と、まだまだ時間があります。よく悩み、ゆっくりと決めていきたいです。



世田米小学校6年
すがおら ゆうと
菅村 優士
(世田米字世田米駅)

編集後記

副委員長 金野千津

▼昨年は、米高騰とクマの騒動に振り回された1年でした。▼今年の干支、馬のイメージから、午年は、活動的で、変化と躍進が起こりやすい年と言われています。▼総合計画もスタート。新たな公共交通計画も走り出しました。▼住田町にとっても、より良い変化と躍進が起こる年となりますよう、願ってやみません。▼議会広報も、読みやすさ、わかりやすさを大切に、身近な議会情報をお届けします。

表紙の写真



有住保育園

有住保育園のクリスマス会のひとコマです。「メリークリスマス!」の可愛らしい掛け声が、園内に響き渡ります。年長さんからクイズやダンスの発表があり盛り上がりも最高潮! 最後にはサンタさんからプレゼントをもらい、大喜びの子どもたちでした。

広報編集常任委員会

発行責任者

- | | |
|------|---------|
| 議長 | 佐々木 春 一 |
| 委員長 | 荻原 勝 |
| 副委員長 | 金野 千津 |
| 委員 | 水野 正勝 |
| | 高橋 靖一 |
| | 阿部 祐一 |
| | 佐々木 信一 |

